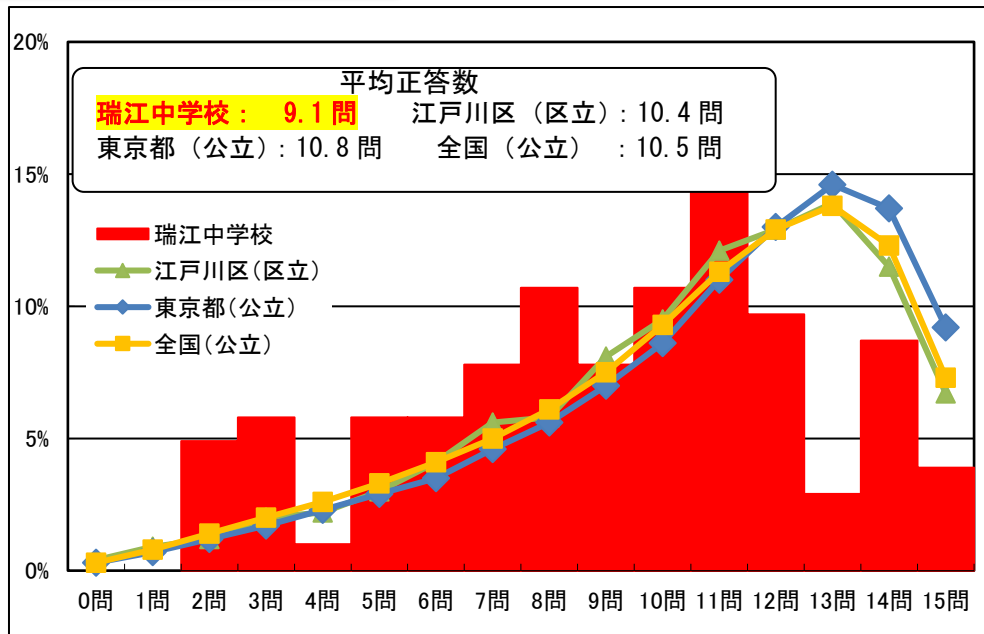
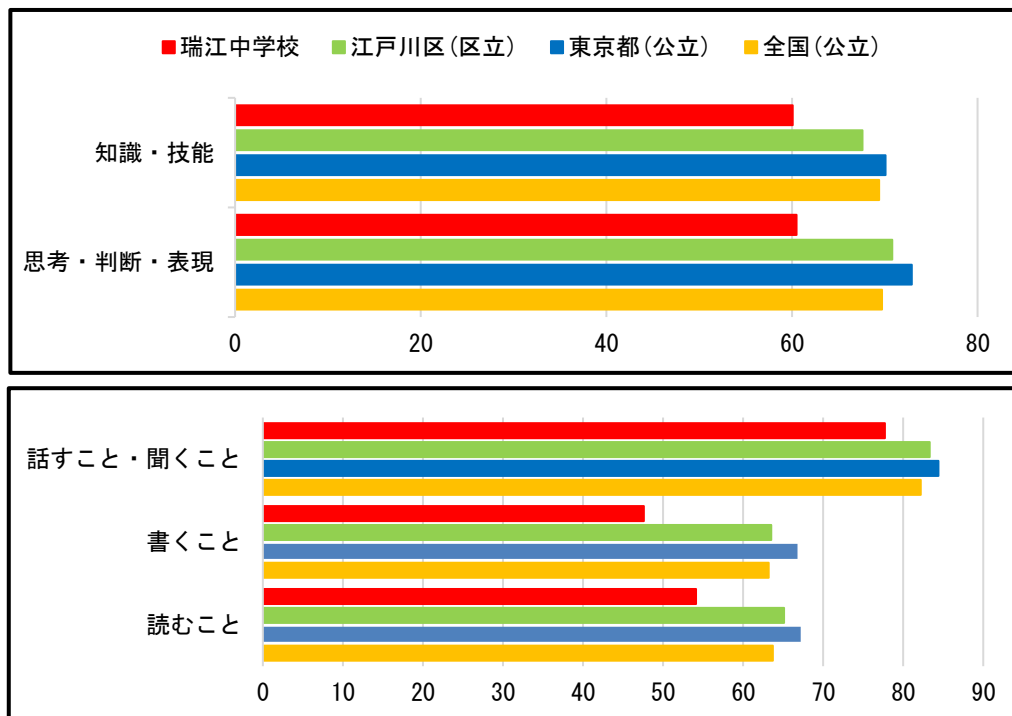


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 瑞江中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
瑞江中学校	15.5	9.7	33.1	41.8
江戸川区(区立)	32.1	12.9	29.7	25.3
東京都(公立)	37.5	13.0	26.6	22.9
全国(公立)	33.4	12.9	28.1	25.6

【平均正答率の差】

瑞江中学校	60%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	12ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

都平均や全国平均を大きく下回る結果となった。特に知識技能の問題や記述式の問題の正答率が低いという結果が出た。そのため、確認のための小テストを繰り返し行うことや、記述課題後のフィードバックをより丁寧に行うことを授業に取り入れていく。また、正答率の低い問題には無回答率も高かった。課題の難易度や数を調整し、わからなくても自分で考えて答えを出せるような課題を授業内で設定する。加えて課題に要する時間の想定を見直し、限られた時間の中で文章を書く訓練を授業で取り入れていく。

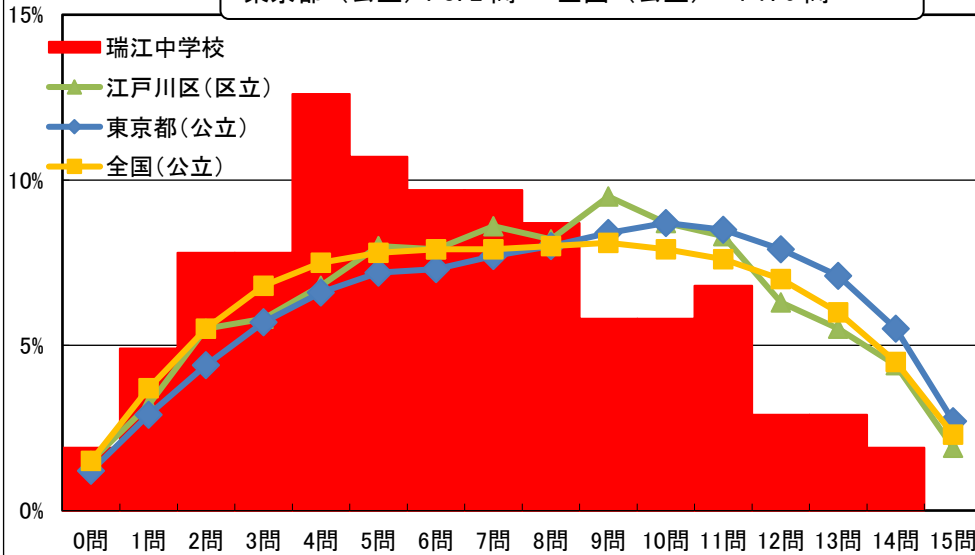
四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 瑞江中学校

正答数分布

平均正答数

瑞江中学校：6.3問
 江戸川区（区立）：7.7問
 東京都（公立）：8.2問
 全国（公立）：7.6問



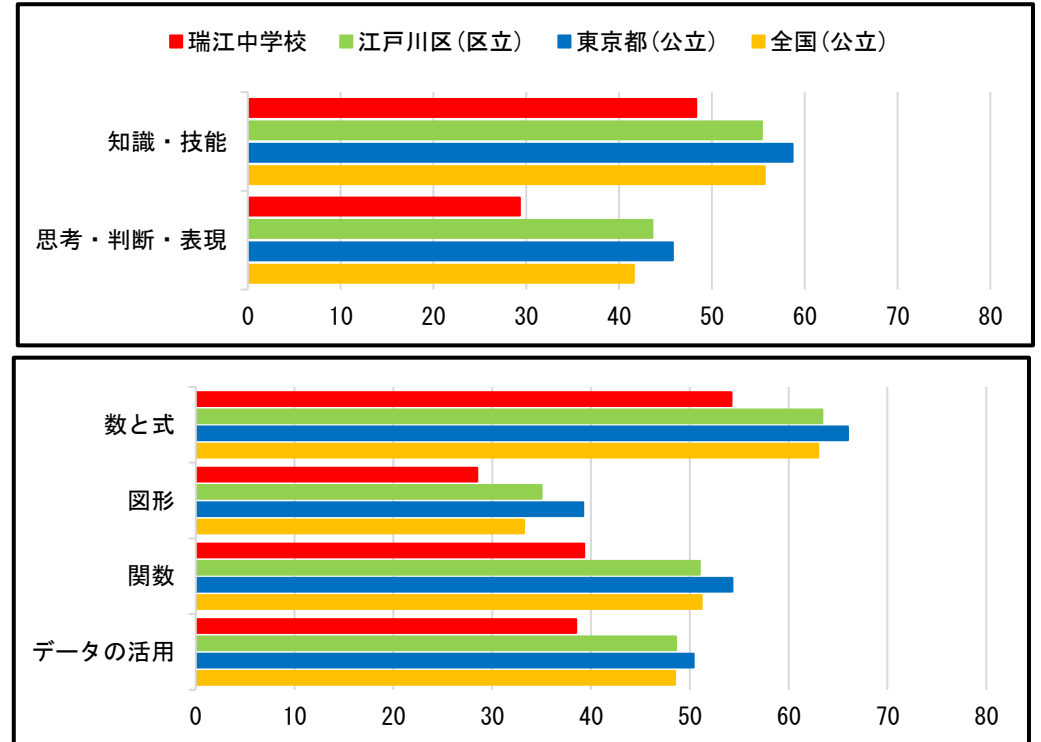
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← 下位

数 学	四分位			
	A層 11~15問	B層 8~10問	C層 5~7問	D層 0~4問
瑞江中学校	14.5	20.3	30.1	35.0
江戸川区（区立）	26.4	26.4	24.5	22.7
東京都（公立）	31.7	25.1	22.2	21.0
全国（公立）	27.4	24.0	23.6	25.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

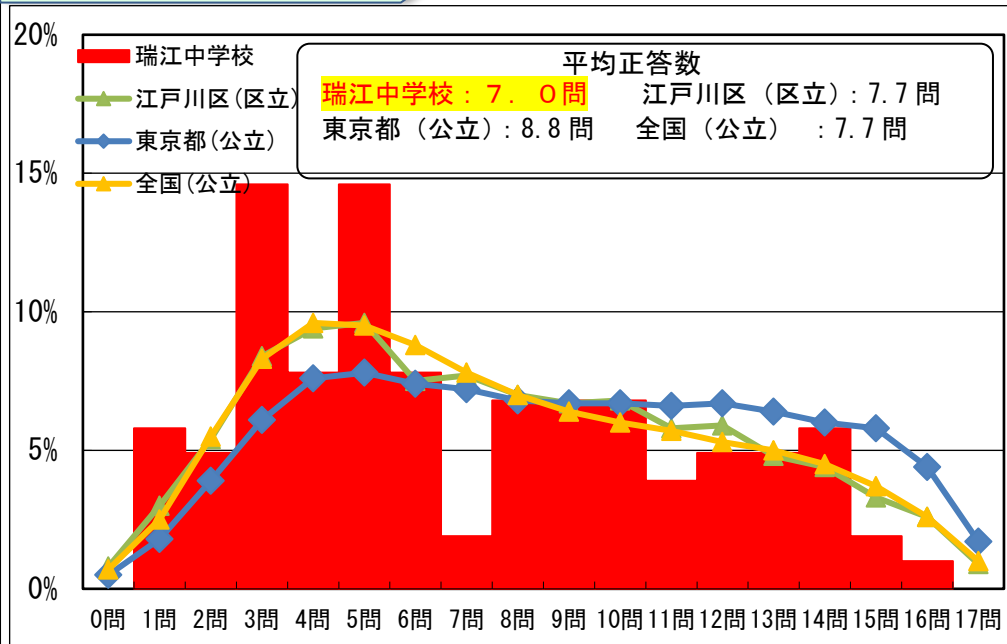
瑞江中学校	42%
江戸川区（区立）	51%
東京都（公立）	54%
全国（公立）	51.0%
都との差	12ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

都や全国の平均と大きく離れてしまっている。しかし、全員があと1問ずつ正解すれば各層のパーセンテージが全国並みになると考えられる。そのためには基礎の定着が不可欠である。授業では前時の確認や各学年の関連ある内容の復習を取り入れていく。また、知識技能に比して思考力に課題があるので、“なぜ”を問う発問を増やし、理由を答えさせたり自分の考えをノートに書かせたりして、考える力の向上を図りたい。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 瑞江中学校

正答数分布

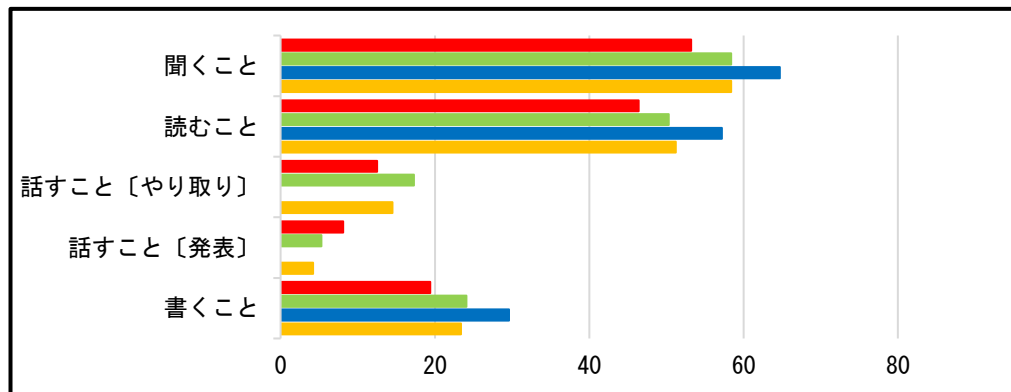
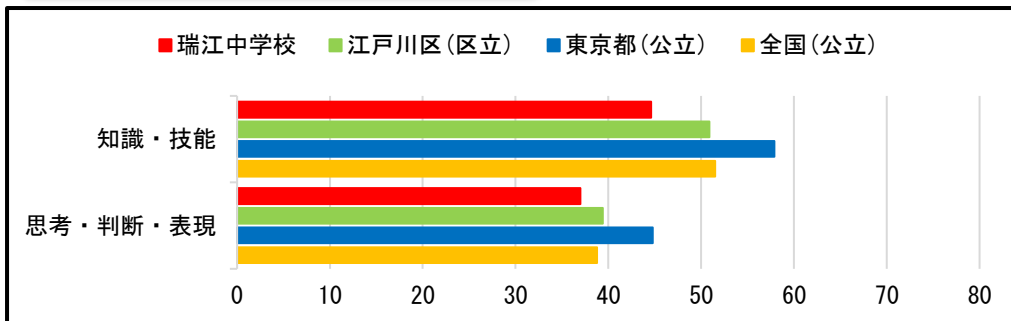


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12～17問	B層 9～11問	C層 5～8問	D層 0～4問
瑞江中学校	18.5	17.5	31.1	33.1
江戸川区(区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都(公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国(公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

瑞江中学校	41%
江戸川区(区立)	45%
東京都(公立)	52%
全国(公立)	45.6%
都との差	11ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

C層、D層が全体の6割を占めており、これは上記の4技能すべてに必要な語彙力が足りないことに起因すると考える。授業の中で現在よりも語彙指導の時間を増やしたり、小テストをこまめに行ったりするなどして基礎的な語彙力を身につけさせたい。